

2020年12月4日 ACAP

アクティブシニアと社会の共存に関する意見交換会
～ 超高齢社会を受容し、シニアと企業が健全に発展していくためのヒントを探る～



富田講師のご講演



WEB配信とともに会場にも参加者が集った



五島講師のご講演



11月11日、明治安田生命 MY PLAZA ホールにて、アクティブシニアと社会の共存に関する意見交換会として「超高齢社会を受容し、シニアと企業が健全に発展していくためのヒントを探る」をテーマに、講演並びに意見交換会を行った。

今回は、一般社団法人日本元気シニア総研 最高顧問 富田眞司氏、公益社団法人テクノエイド協会 企画部部長 五島清国氏を講師としてお招きし、ご講演をいただいた。

ACAPからは村井理事長をはじめ、坂倉専務理事、喜山事務局長、交流活動委員、会員企業等合計66名が参加した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会場での開催と同時にオンラインによる配信も行った。

坂田交流活動委員の司会進行のもと、冒頭に村井理事長より「これからの10年を見据えた活動のコンセプトとして①社会・環境の変化、②高齢化、③デジタル化によるコミュニケーションの変化の活動を環境変化として掲げている。さらに視野を広げ多くを学ばせていただきたい。本日は環境変化に対応した新しい私たちの姿を共に考え、イノベーションにつなげる第一歩にしたい。」と挨拶があった。

その後、富田氏から「元気シニアのニーズとビジネスの可能性」、五島氏から「テクノロジーを活用したシニアの課題解決」をテーマにご講演をいただいた。

富田氏からは、超高齢化社会においてシニアのライフスタイル、意識が多様化するなか、年齢、ライフスタイルなどから需要の細分化を行いビジネスを考える重要性やビジネスと併せて生活提案を行うことが成功の秘訣であるとのお話をうかがった。また、五島氏は現状の医療、介護の質を維持するため、そこに携わる労働人口の不足が予測される中、テクノロジーを活用し高齢者や要介護者が元気に活躍できる社会の実現に向けて、実際の活用事例も交えてお話くださった。

続いて、鈴木交流活動委員より、参加企業からの事前アンケートに寄せられた質問の報告があり、講師の方々から意見をいただいた。

最後に、坂倉専務理事より、「高齢化社会である日本において、シニア向けビジネスは社会的解決につながり、ひいては国の医療制度の持続可能性にもつながる。これを機に高齢者の課題について考えるきっかけとしたい。」と結びの挨拶があり、閉会となった。

小原 直子（交流活動委員会／味の素株式会社）

無断転載・転用禁止